

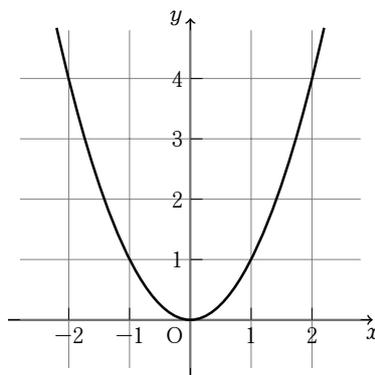
1 ベース

問題 1

$y = x^2$ の x と y の関係をもとにして、 x と y の値の組を座標とする点を平面座標に書き入れる。さらに、 x の値を 0.5 おきに増やしながらか y との値の組を座標とする点や、0.1 おきに増やした場合の座標も書き入れていくと、右図のような滑らかな曲線になっていくことが予想される。

この曲線が関数 $y = ax^2$ のグラフである。

関数 $y = ax^2$ のグラフには次のような特徴がある。



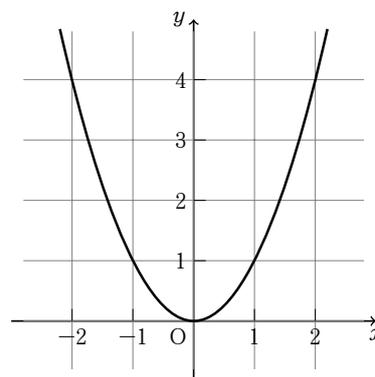
2 問題文の分量が少ない場合の例

問題 1

$y = x^2$ の x と y の関係をもとにして、 x と y の値の組を座標とする点を平面座標に書き入れる。さらに、 x の値を 0.5 おきに増やしながらか y との値の組を座標とする点や、0.1 おきに増やした場合の座標も書き入れていくと、右図のような滑らかな曲線になっていくことが予想される。

この曲線が関数 $y = ax^2$ のグラフである。

関数 $y = ax^2$ のグラフには次のような特徴がある。



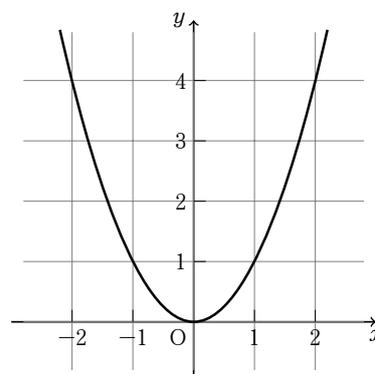
3 問題文の分量が多い場合の例

問題 1

$y = x^2$ の x と y の関係をもとにして、 x と y の値の組を座標とする点を平面座標に書き入れる。さらに、 x の値を 0.5 おきに増やしながら y との値の組を座標とする点や、0.1 おきに増やした場合の座標も書き入れていくと、右図のような滑らかな曲線になっていくことが予想される。

この曲線が関数 $y = ax^2$ のグラフである。

関数 $y = ax^2$ のグラフには次のような特徴がある。



問題文の分量が多い場合

$y = x^2$ の x と y の関係をもとにして、 x と y の値の組を座標とする点を平面座標に書き入れる。さらに、 x の値を 0.5 おきに増やしながら y との値の組を座標とする点や、0.1 おきに増やした場合の座標も書き入れていくと、右図のような滑らかな曲線になっていくことが予想される。

この曲線が関数 $y = ax^2$ のグラフである。

関数 $y = ax^2$ のグラフには次のような特徴がある。

4 使用例

問題 1

具体的な使用例

ここに問題文を書いてください

図は適当に弄ったので無意味です

